

中野産婦人科医院 無痛分娩看護マニュアル

2025. 3.21 改定

I 入院時の看護

無痛分娩の同意書を確認し、無痛分娩の意志を確認する。

II 無痛分娩の際に準備する物品、備品

III 硬膜外カテーテル挿入前の看護

- ・ VS 測定
- ・ CTG モニター
- ・ 20G サーフローにてルートキープ

IV 硬膜外カテーテル挿入時の看護

・

V 無痛分娩中の看護

- ・ 麻酔効果の評価
- ・ CADD の管理
- ・ 胎児心拍モニタリング
- ・ CTG モニタリング

【観察項目】

- ・ バイタルサインの管理：麻酔導入時、血圧・脈拍・SpO₂ を 5 分毎に測定
麻酔効果判定 OK となったら、15 分毎に測定
- ・ 疼痛評価：麻酔導入後 30 分後に疼痛スコア（NRS）にて評価判定する
- ・ 麻酔範囲の評価：麻酔導入後 30 分でコールドテスト実施
- ・ 胎児心拍モニタリング：CTG を装着し、胎児心拍数と変動を評価

1. はじめに

- **無痛分娩の目的**
患者の痛み軽減、リラックスした出産環境を提供すること
 - **方針と理念**
患者の安全を最優先に、痛みの管理と快適な分娩をサポートするための基本方針
 - 1, 患者の選択を尊重する
 - 2, 安全性の確保
 - 3, インフォームド・コンセントの実施
 - 4, 心身ともにリラックスできる環境の整備
 - 5, 分娩後のサポート
-

2. 無痛分娩の概要

- **無痛分娩の方法**
 - 硬膜外麻酔
 - 脊髄麻酔
 - その他の痛み緩和方法（例：笑気麻酔）
 - **無痛分娩のメリットとデメリット**
 - メリット：痛みの軽減、リラックスした環境の提供、分娩の進行をコントロールしやすい
 - デメリット：麻酔による副作用、低血圧のリスク、分娩時間が長くなる可能性、器械分娩の可能性
 - **対象となる患者**
 - 無痛分娩を希望する健常な妊婦
 - 特定の健康状態（例：出血、感染症など）を有する場合は慎重に対応
-

3. 施設の準備

無痛分娩を行うために必要な施設の準備について

- **医療機器と設備**
 - 麻酔関連機器（硬膜外麻酔器：キャドソリス、点滴装置、麻酔薬）
 - 妊婦用のベッド、分娩台
 - 胎児モニタリング装置（CTG）
 - 緊急用の処置キット（例：麻酔薬過剰投与対策、酸素供給装置）
 - **無痛分娩麻酔管理者（医師）の配置**
無痛分娩を行うために麻酔管理医が常駐している。緊急時の対応ができる体制を確保。
 - **看護師・助産師の研修**
麻酔に関する基本的な知識と患者のモニタリングスキルを持つスタッフの教育・訓練。
-

4. 無痛分娩のプロセス

無痛分娩の実施方法とその過程について詳細に説明を行う

- **患者カウンセリング**
 - 無痛分娩に関する情報提供（リスク・メリット）
 - 同意書の取得（無痛分娩を受ける前にリスクとメリットについて十分に説明し、患者から書面で同意を得る）
 - **事前検査と評価**
 - 妊婦の健康状態（血液検査、妊娠週数、胎児の状況）
 - 麻酔適応に関する評価（アレルギー歴、既往歴など）
 - **麻酔の実施（入駒ソリューションプロトコールに準ずる）**
 - 麻酔の投与方法（硬膜外麻酔、脊髄麻酔など）
 - 麻酔前後の観察（血圧、脈拍、呼吸、酸素飽和度、麻酔範囲、痛みのチェック）
 - **分娩中の監視（入駒ソリューションプロトコールに準ずる）**
 - 定期的な母体と胎児のモニタリング
 - 痛みの管理、麻酔の調整
 - 異常の発生時には迅速な対応（低血圧、麻酔の効果不足など）
-

5. 患者のモニタリングとケア

無痛分娩中の患者の安全と快適性を確保するためのモニタリング方法

- **母体のバイタルサイン**
 - 血圧、心拍、呼吸状態の定期的な測定
 - 麻酔による低血圧や副作用の兆候をチェック
 - **胎児のモニタリング**
 - 胎児心拍数の監視（CTGを使用）
 - 異常があれば迅速に対応（例：胎児の心拍異常）
 - **麻酔の効果と調整**
 - 麻酔の効果が十分でない場合は、追加の麻酔薬を投与
 - 痛みの管理が適切に行われているか定期的に確認
-

6. 緊急対応マニュアル

無痛分娩中に発生する可能性のある緊急事態への対応方法

- **麻酔による副作用**
 - 低血圧、悪心、嘔吐、呼吸抑制などの症状に対する対応方法
 - 急性アレルギー反応や過剰麻酔に対する対応
 - **分娩進行の異常**
 - 無痛分娩後に分娩が進行しない場合や胎児の状態が悪化した場合の対応
 - 緊急帝王切開の判断と実施方法
-

7. 退院後のケアとフォローアップ

無痛分娩後の母体ケアについて

- **麻酔後の回復管理**
 - 麻酔が切れた後の母体の状態確認
 - 痛みの管理（必要に応じて鎮痛薬を処方）
 - **退院後の注意事項**
 - 無痛分娩後の母体の状態をモニタリングするため、退院後のフォローアップの重要性
 - 麻酔後の異常（例：麻酔部位の痛み、発熱など）への対応
-

8. 職員の責任と役割

無痛分娩に関わる全てのスタッフの役割について

- **無痛分娩麻酔管理者（医師）**
 - 麻酔の実施と管理、異常時の対応
 - **助産師・看護師**
 - 妊婦の状態監視、麻酔後のケア、分娩進行のサポート
 - **産科医**
 - 無痛分娩の進行を監視し、必要に応じて対応
-

9. 施設内評価と改善

無痛分娩の質を維持し、継続的に改善するための評価方法について

- **定期的な評価**
 - 無痛分娩の実施後に患者満足度調査を実施
 - 事故やトラブルの発生時には徹底的なレビューを行い、改善策を講じる
 - **スタッフの研修**
 - 新たな技術やガイドラインの導入に際し、スタッフの定期的な教育・訓練を実施
-